

令和2年5月11日

本科4年生・保護者各位

教務主事

キャリア支援室長

令和2年度インターンシップの方法変更について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、国内で発令された緊急事態宣言が延長されるといふたいへん困難な社会状況となっています。例年であれば、本科4年生の学生は、夏季休業中に企業や大学などへインターンシップに赴き、就業や研究を体験することで就職や進学に向けての準備を本格的にスタートしますが、この状況の中、学生のみなさんの安全を守ることができるのか、みなさんを派遣して良いものか、学校として議論を重ねてきました。検討の結果、夏季休業中の社会状況の見通しが立たないこと、インターンシップ先が県内外の広範囲に渡ることなどを考慮し、苦渋の決断ではありますが、「今年度はインターンシップを行わず企業研究を実施する」としました。

学生は、この「企業研究」で興味のある業種の企業、大学や官公庁を調査し、就職や進学について準備をしていただきたいと思います。

以下、企業研究、企業研究の取り扱いなどについて説明します。

- 企業研究について

(目的) 関心のある企業や大学、官公庁について調査・比較し、志望先の選択に役立てる。また、志望先についての理解を深めることで、志望動機を醸成する。

(方法) 関心のある業界の企業を複数選び、企業情報、事業内容や規模、制度、採用情報などを調査し、比較する。大学進学や官公庁への就職を希望する学生は、志望先について同様に調査・比較を行う。大学と企業、官公庁と企業という比較も可能とする。

事前講座にて、「企業研究の方法」について具体的に学び、夏季休暇中に企業研究に取り組む。

- 企業研究の取り扱いについて

本校でのインターンシップは、2週間の就業体験（原則）、出席簿と研修日誌、実習報告書の提出、実習報告会を行うことで、1単位の科目（卒業要件には含まれません）として実施していますが、今年度の「企業研究」はその代替ということで

- ① 事前講座「企業研究の方法」の受講とレポート提出
- ② 企業研究レポート提出
- ③ 企業研究報告会

によって、同等の取り扱いとします。

以 上